

神奈川県立平塚支援学校における学校運営協議会開催結果

本校の学校運営協議会を次のとおり開催した。

審議会等名称	第2回神奈川県立平塚支援学校 学校運営協議会		
開催日時	令和6年12月2日（月） 午後1時00分～3時00分		
開催場所	校長室		
出席者	運営協議会委員等8名（本校校長含む） 事務局教職員 5名		
次回開催予定日	令和7年2月27日（木）		
下欄に掲載するもの	議事録	議事概要とした理由	
会議経過	<p>1 開会</p> <p>(1) 会長あいさつ</p> <p>(2) 校長あいさつ</p> <p>2 報告</p> <p>(1) 切れ目ない支援部会について</p> <p>(2) インクルハブ湘南の活動について</p> <p>3 協議</p> <p>(1) 学校評価部会 令和6年度の学校中間評価について</p> <p>(2) 防災部会 前期の活動報告と今後の活動課題について</p> <p>4 意見・質疑応答等</p> <p>(1) 切れ目ない支援部会について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 切れ目ない支援の一番の課題は何か。 ⇒ 各機関がどのようなルールに基づいて、何を行っているのかを知り合うことである。 ○ 成果はどのようなものか。 ⇒ 学校が行う医療的ケアの内容や手続き等を他機関の方に知ってもらったことである。 ○ 巡回相談はどのようにして始まるのか ⇒ 先方からの依頼で始まる。 <p>(2) インクルハブ湘南の活動について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ どのようなかたちで連携し、それを活動として成立させようとするのか。それまでのプロセスを見える化した方がよいかたちで連携ができていることが分かりやすくなる。 		

(3) 学校評価部会について

○ 慢性的な教員不足をにわかに改善はできないだろう。優先順位をつけて、教育の時間を減らすことはできないのか。

⇒ 授業時数を減らすことや行事についても精選を図っているところである。

○ イベントのときにボランティアを募集するのはいかがか。以前、髪の毛をカットするときにお手伝いをしてくださる方の募集があったが、他にどのようなものがあるのか知らない。ピンポイントでアピールするのがよい。

手が足りないという話は出てきていたが、どうやって集めていこうかというのは初めてかもしれない。

ボランティア保険については、年間ではなく、イベントごとにかかるものもある。リクルートしやすいやり方を生み出すことは検討課題である。

○ 猛暑対策において、植物に関する授業が必須であれば、手のかからない植物に切り替えればよい。また、屋内で栽培が可能な植物にすればよい。

夏場を外してはできない授業なのか。熱中症対策であれば異なる授業に置き換えるのがよいのでは。

小学校でも同様の課題があり、夏は活動を入れていかないようにしている。

作業学習において、農作業は必須なのか、つけたい力は何か、必要な力を身に着けていくための活動として、どのようなものがよいのか、改めてあるべき姿を検討することが必要である。

一方で、専門的な知識技能と継承というのは猛暑対策とは異なる問題である。

継承ということでは、マニュアルにして分かりやすく伝えていく方法もある。また、農作業は知的に障害のある子どもの就労先として相性がよい。何かを作って収穫することを目的とするのではなく、暑い時期は屋内で土を選別し、次の準備をするなど、土と触れ合う機会を作るとよい。

(4) 防災部会について

○ 自分たちで行動ができるよう避難訓練の日常化は大切である。

○ 小学校は地域の広域避難所になっている。災害時、発電機の取扱いも含め、地域の方の対応は市の職員が対応することになるが、何かの際には保護者の引き取りが基本である。こ

の切り分けについて、よく分からなかった。

⇒ 本校では子どもたちの在校中に災害が発生した場合は、3日間過ごせるように食料や水を用意している。発電機についても、必要性があることから購入した。本校も引き取りは基本である。

○ 地域の避難所ではないのか。

⇒ 福祉避難所に指定されている。災害時には平塚市から連絡を受けて対応することになる。また、市の物資も別にして保管している。

○ 必要な電力量が分からないとなっているが、3日分等、必要な日数分を定めた方がよい。

○ どのような人がどこにいるのかということに関し、分け方に決まりはあるのか。

⇒ 基本は児童生徒自身の教室である。

○ 無線機はあるのか。

⇒ あるにはあるが校舎の端から端まで電波が届くものではない。免許の必要のない無線機の用意は話題になる。

○ 寺田縄自治会の中で平塚支援学校の存在は周知されているのか。

⇒ 存在は知っているが、意識レベルでは低い。催しもののチラシがあれば周知はできる。

○ 初動マニュアルの進捗状況はいかがか。

⇒ 1月に開催する防災部会においてお示しする予定である。

未完成でも構わない。パイロットが緊急時に見るマニュアルのようなものとよいかもしれない。

先生方で考えるより、誰かの助言があった方がよい。

⇒ 近隣のマニュアルも参考にしながら、本校にあったマニュアルを作成したい。